支でいうに

令和5年(公0公の年)

の干支は「卯」

話

WINGIA

シは

事態と言 4年の狂 ル

作進

V動生車

調に推

現在、

10年代の

そん

力能で、たので

ですか

がったものの、罹患すれば、スの感染者数は再び増加に転なの感染者数は再び増加に転

ろん、ご家

協同組合ウイングバレイ

を 特様にとりまして、より良き年になりまして、より う祈念申し上げます。 って昨年は半導体不 との影響が続く一年となり、当初の生産計画 台数が「売れるのに造 れない」という残念な

りまして! をはじめとする値上に」 やれる不安定な操業とたい 一年でした。ですからお客様に価格転嫁をお願いせざっを得ない状況となり、造

2023年新年特集号

2023年1月1日

総社市久代1408-6 協同組合ウイングバレイ 発行責任者 田 村 寛 人

ホームページアドレス http://www.wingvalley.or.jp/ 総社市総社1丁目10番24号 柳本印刷株式会社

理組

田

眞



卯年は、

のと

「卯」の意味や特徴 います。皆様におかいます。皆様におかいます。皆様におかいます。皆様におかいます。 とお聴えのこととお際います。 といます。 といます。 とお際におかいます。 卯年 した。 で出る」という と言われてい この2つの この2つの

年度 1963

昭和50年

(昭和62年)

(平成11年)

(平成23年)

毎日にちょっと、いい軽EV。

それを紹って発卵」

いう文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、 春の間近でつぼみが花開く 直前である」という意味だと言われています。 1999年はプラス、式相場の年間騰落率)は

卯年生まれの人の性格や特徴

和5年(2)お願い申し

いう字が由来という字が由来という字が出来という字が出来という な特徴が 4特徴があると言われていっか、まとめると次のようさまざまな見解がありま

静かで行儀のよ

明年生まれ 格としてよく取り上げよれるのが、物静かで行儀がよ く、上品で繊細なところで す。また対人関係では争い ごとを好まない平和主義者 よので、周りの意見を上手 よので、周りの意見を上手

取り上げられる基本的な性

良くも悪くも保身的

● 1 月北陸地方中心に日本全国豪雪

●3月に山陽新幹線岡山-博多間393Km開通。

●団地操業20年の記念に20年史「如水」を刊行。

●三菱自動車水島製作所、生産累計1,000万台達成。

卯年 ウイングバレイ・国内外の出来事

●11月アメリカのケネディ大統領がテキサス州ダラスで暗殺される

●組合員企業の三進工業が中国ギャングネイルトラスと社名変更。

●国鉄分割・民営化。JRグループ11法人と国鉄清算事業団発足

●経営診断結果に基づく検討プロジェクトチーム(4チーム)が発足。

卯 につ

36 は 余 ・二兎を追う者は一兎をもてみました。 なることのたとえ。

古い習慣や過去の偶然のらえられないことから。らえられないことから。っとすると、結局一匹もとうとすると、

り株にぶつかって死んだ。上がないことのたとえ。中国・宋の農民が農作業や国・宋の農民が農作業 国の古

歳月のあわただしく過・鬼走鳥飛(とそううひ 脱兎の はやいことのたといる兎のように、

いる。太陽月」で月日

「走狗」は猟犬のこいを」はすばしこい

評をいただい り「クルマの を一気に解 を一気に解

式会社アステ

水松幹

雅ブレーキ山陽製造株式会社

0

| ボックスタ

申

ました。現在、カーボン向けとして販売を続けてい一の軽商用EVで一部法人

がご来店いた 1月7日~1月15 115 - 1月15 - 115

株式会社テルミックス

社長 松 尾 則

宏

店舗では初

开原精機株式会社

月7日

荻

売りフェア (1日 月9日、1月14日 日]を開催いたし す。皆様に是まい だきたいと思いま だきたいと思いま だきないますが、20 ざいますが、20 皆様のカーライフ に努めて参ります に努めて参ります に努めてあります

株

良べられるとの意かえば猟犬は不要にな

●WRCスウェディッシュラリーで三菱自動車のランサーが総合優勝。 ●EUにユーロが単一通貨として導入された。 ●日本イー・ダブリュー・アイがアステアに事業統合され、同社は解散。 ●3月11日東日本大震災発生。ウイングバレイとして3月に被災地へ

年頭挨拶



新年表に、別の皆様におかれましては、日の皆様におかれましては、日ございます。ウイングバレイ

止に努めていただ。気を緩めること

続の銅賞受賞と、国大会「曲げ板金連続の上位入賞、

水島製作所は、

い、わずか4 生品質の早期 にあたり、水 ロ本カーオブ ーオブザ イ 11月には日 20日 A E V 」 一産再開する 成すること

するグローバルな生産体制を でくり競争力をもって、国内 でくり競争力をもって、国内 います。これからも高いもの います。これからも高いもの

\感謝してお 企業様のご レイ加盟企 今年も、コロナ、半導体、 カーボンニュートラル、デリカミニの立ち上りと、多くの 課題はありますが、高いレジ リエンス(弾力性)をもって 乗り越え、安定的で高品質な 車づくりに努めて参ります。 これまで同様、各社様との連 ご協力をよろしくお願い致し

で、連

お祈り申し上げ、新年のご挨を一年となることを心よりを一年となることを心より

年頭挨拶

ミーブの: に加え、 日産サク

健闘を期待するところでが証明されたと思います。 が証明されたと思います。

産再開と

、現時

を か独自の経営戦略を持ち、努力しています。 は換言すれば、

つがなく新しい年をの皆様におかれましございます。ウイン ーングバレーングバレー

9。保有する 各社にといます。そん

昨年昨年

事業に取りにりますので、

各社の方向は

孝

環境は、CA まる年です。 とって202 こ協力を賜り

このご努力の 配質管理、環 はが、現 て感謝申し

所には三菱自動車 の表が開催され、2 との懇親会を行う との懇親会を行う との懇親会を行う との懇親会を行う との懇親会を行う とのまう ト開催は少ないよ 当社は組織の名称 当社は組織の名称

げ 援をよろしくお願い申

らず、カーボンニュートラルSEなどの次世代技術のみな 層チャレンジングとなりスー始めとするSDGsなど、

ピードある対応が求められて います。その実現に向け、次 期中計の中で皆様と一緒に取 り組んで参ります。 さて、?・ さて、2023年は卯年であります。うさぎはその動くをから「飛躍」を象徴するものです。本年は卯年にあやかって皆様と一緒に大きくかって皆様と一

末筆ではございますが、本 年がウイングバレイの皆様、 ご家族の皆様にとって輝かし い一年となりますよう祈念 し、新年のご挨拶とさせて頂

子宜しくお願りかれる。 がウイングバッスで、三 はすので、三 ロナ禍ではご イフサポート イフサポート り は同組合 ウインクリバレイ 理事長 豊田 眞 三 式会社共立精機 石黒

·四国営業本部)販売株式会社

株式会社クレファク

総社工業株式会社 新興工業株式会社 会長 豊田 眞三 式 슷 横 社 田 直 樹文

西日本三菱自動車販売株式会社

三乗工業株式会社

三乗工



2023年1月1日



株共立



なります。 この²削減に継 この²削減に継

のご挨拶



岡山県議会議員 秋山まさひろ

お迎えのこと おめでとうご 方行政に提言していきたいと考様方にご意見を賜りながら、地様方にご意見を賜りながら、地に向けた動きが加速することか

で、皆様方のお力添えを切におく、三菱自動車グループの代表として、県政とのパイプ役としとして、県政とのパイプ役としとして、

願い申し上げます。 末筆ではございますが、本 末等ではございますが、本 すこと、また皆様方のご健勝と ご多幸をご祈念申し上げ、新年 のご挨拶とさせていただきます。

ンニュートラル 別目に向けた勝 悩「秋山まさひ一

ながら『お客

-を開催しま

電動カート

へしんで頂きまれてよく遊屋上でよく遊見かける事もへ、小さい子供

**しているわが子の姿をスマホーで写真に収める微笑ましい場面ではなく親子で楽しんで頂ける場を提供できた事をうれしく思っております。

れた子供さんお借りして来

ら、三菱アイ けに三菱自動

荻野鉄工株

た時代の歩

幾多の

(各社様、従いない)

敗を活かし、想像力を発揮して で、これまでの知見・経験・失 で、これまでの知見・経験・失 で、これまでの知見・経験・自 動車業界の大きなうねりの中 で、これまでの知見・経験・と

を迎える 管計画の に、記念 に、記念

井原精機株

ア

ステア

二菱自動車様の新型軽EV





中小企業団体の組織に関する法律および商店街振興組合法に基づくもので、中小企業等協同組合、商工組合等および商店街振興組合に係る「組合功労者」として、協同組合ウイングバレイ理事としての長年の活動に対して、協同組合では、 理事としての長年の活動に対し 中小企



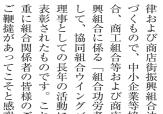
図ること

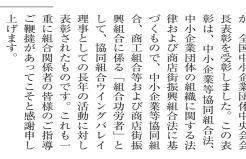
向上に向

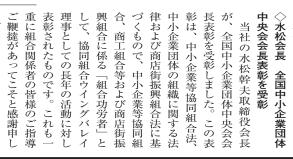
全自動三次元測定機

株式会社様

プレスを順次ご視察いただきました。加藤社長からは、軽量化 し、車体構造などにどんどん新 し、車体構造などにどんどん新 しい提案を出して欲しいとのア プレスライン、スマートホッ立の各ラインならびにタンデ









溶接組立、ドアサッシュ自動組説明のあと、本社1工場の塗装、量化に関する取り組み状況のご

た関連の車体軽 にれました。 が厳様

当社の現況をご認識いただく良は、遡ること1990年代半ばは、遡ること1990年代半ばず自動車様トップの当社訪問